

令和8年度「新潟市在宅テレワーカー育成就労支援事業」企画提案評価基準

それぞれの審査委員が評価項目ごとに評価を行い、合計点（200点満点）をその提案者の得点とする。
選定にかかる評価項目、評価の視点、配点は下表のとおりとする。

評価項目		評価の視点	配点
大項目	小項目		
1 実施内容	(1) 社会情勢・実施目的の理解	本市の課題やニーズを的確に分析した上で、事業の実施方針を明確に定めていること	5点
	(2) 事業の周知、応募受付、支援対象者の選考・決定	事業の周知及び応募受付等について、効果的な内容が提案され、実施が見込めること	15点
	(3) 職業訓練プログラム（ITスキルの付与）等の実施	職業訓練プログラムの内容や実施方法等について、在宅での就労にあたって市内企業からのニーズが高いプログラム内容・効果的な実施手法が提案され、実施が見込めること	30点
	(4) 支援対象者に対する就職支援の実施	伴走型就労支援として、効果的な手法が提案され、実施が見込めること	30点
	(5) 求人の開拓、求人紹介・マッチング	市内事業者からのテレワーク就労が可能な求人の開拓に向けて、事業者に対する伴走型支援を含めた効果的な手法が提案され、実施が見込めること	30点
	(6) 市内事業者に対する在宅テレワーカーの活用促進	市内事業者の多様な人材活用に向けて、効果的な手法が提案され、実施が見込めること	30点
	(7) 事業の分析の実施	本事業のニーズ把握に向けて、調査、分析の効果的な手法が提案され、実施が見込めること	10点
	(8) 関係機関等との連携	連携が必要な関係機関等を把握した上で、連携の効果的な手法が提案され、実施が見込めること	5点
2 運営体制	(1) 成果目標の実現可能性	支援の進め方やスケジュール等を明らかにし、確実な実施が見込めること	20点
	(2) 適切な進行管理	業務管理体制や類似事業の履行実績等から、進行管理の適切な実施が見込めること	15点
	(3) 個人情報管理・法令遵守	個人情報の保護、法令遵守のための具体的な体制・方法が提案され、実施が見込めること	5点
3 その他	(1)ワーク・ライフ・バランス等を推進する取組	企画提案評価基準「別表 ワーク・ライフ・バランス等を推進する取組に関する評価項目」のうち1つ以上に該当する	5点
合 計			200点

別表 ワーク・ライフ・バランス等を推進する取組に関する評価項目

選定基準・ 評価項目	採 点 基 準	確認書類
ワーク・ライフ・バランス等を推進する取り組み	□次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画について、策定義務のない企業等（常時雇用する労働者の数が100人以下）が策定し、労働局に提出している。	計画届の写し
	□次世代育成支援対策推進法に基づく認定「くるみん認定」「トライくるみん認定」「プラチナくるみん認定」を受けている。	認定証の写し
	□厚生労働省のポジティブ・アクション普及促進に賛同する企業として、女性活躍推進を宣言している。	ホームページの宣言企業詳細画面の写し
	□新潟県のハッピー・パートナー企業に登録している。	登録証の写し
	□新潟県の「多様で柔軟な働き方・女性活躍実践企業」に認定されている。	認定証の写し
	□過去3年間に育児休業を取得した男性従業員が1名以上いる。	申請書及び許可書の写しなど
	□役職者（係長相当職以上）に占める女性の割合が30%以上である。	確認できる書類
	□女性活躍推進法に基づく認定「えるぼし認定」「プラチナえるぼし認定」を受けている。	認定証の写し
	□女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画について、策定義務のない企業等（常時雇用する労働者の数が100人以下のもの）が策定し、労働局に提出している。	計画届の写し
□新潟市働きやすい職場づくり推進企業として表彰されている（従前のワーク・ライフ・バランス推進事業所として表彰された事業所を含む）	受賞決定通知又は表彰状の写し	

- ※ 最高点数を獲得した提案者を第1位として選定する
- ※ 評価の結果、複数の提案者が同点で第1位となった場合には、見積額の最も低い提案者を第1位として決定する。その際、見積額が同額であれば、選定委員会の委員長による採点が最も高い提案者を第1位として決定する
- ※ 各委員による評価の合計点の平均が120点を下回る場合は失格とする
- ※ 各委員による評価の合計点の平均が120点を上回っても、大項目「1実施内容」及び「2運営体制」毎の得点が基準に満たない場合には失格とする